【準備道具】　大工志塾　1年次（初級）入塾時案内

番号	品名	教室実技の講義で使用する	集合研修で使用する	あれば尚良い（なくても可）	数量	すでに持っているものチェック	持っていないものチェック	備考
1	墨壺	◎	○		1			自動巻きなどの、墨付けに適しないものは不可
2	墨差（竹製）	◎	○		1			スーパー墨差しも不可ではないが、出来れば竹の墨差しが望ましい
3	指矩（寸）	◎	○		1			㎜表示の指矩があっても良いが、寸目の指矩は必ず用意する
4	自由矩	◎	○	▲	適宜			無くても墨付けは可能
5	水糸・水平器	◎	○	▲	適宜			
6	鋸（尺又は尺1寸・9寸）	◎	○		1			
7	叩き鑿（4分・6分・8分・1寸2分もしくは1寸4分）	◎	○		各1			大入れ鑿は不可
	突き鑿（8分・1寸6分）			▲				
8	鉋（中しこ・仕上）	◎	○		各1			台の調整・刃の仕込みをした状態で持参すること
9	面取り鉋			▲	適宜			
10	台均し鉋	◎	○		1			
11	砥石（粗砥・中砥・仕上）	◎	○		各1			
12	金板（もしくはダイヤモンド砥石）※砥石の面直し用	◎	○		1			
13	小玄能		○	▲	1			
14	大玄能	◎	○		1			
15	釘抜（中）		○	▲	1			
16	腰袋		○		1			
17	道具袋、箱、バッグ（大工道具入れ　）		○	▲	適宜			
18	スケール（寸・尺）	◎	○		1			㎜表示だけのスケールは不可
19	インパクトドリル（木工用ビット）		○	▲	適宜			
20	作業着	◎	○		適宜			長袖・長ズボン
21	地下足袋		○	▲	適宜			講義会場では運動靴も可。スリッパは不可
22	手拭(タオル)	◎	○	▲	適宜			研ぎ物後に刃物を拭くため
23	手袋	◎	○	▲	適宜			墨付け時に材料を汚さないためにも、持参が望ましい